

SolidWorks標準の図面テンプレートをそのまま使っていませんか？ちょっとした設定で、表題欄が自動入力され、チーム全体で図面品質が揃います。このシートは実務で「すぐ使える」設定ポイントだけを厳選しました。

☒ ① ドキュメントプロパティ の設定ポイント

ツール → オプション → ドキュメントプロパティ で設定します。テンプレート保存前に必ず確認してください。

設定項目	推奨値	場所・補足
投影タイプ	第三角法	図面規格 → 投影タイプ ★JIS標準はこれ
単位系	MMGS (mm/g/s)	単位 → 単位系 ※IPS (インチ) になっていることが多い
小数点以下桁数 (長さ)	2桁 (0.12)	単位 → 長さ 現場によって1桁でもOK
矢印スタイル	塗りつぶし三角	寸法 → 矢印 JIS B0001準拠
矢印サイズ (長さ)	4.0~5.0mm	寸法 → 矢印 文字サイズと比率を合わせる
線幅 (太線)	0.5~0.7mm	線スタイル 外枠・輪郭線に使用
線幅 (細線)	0.25~0.35mm	線スタイル 寸法線・中心線に使用
フォント	ゴシック体統一	注記 → フォント MSゴシック or IPAGothic
文字高さ (標準)	3.5mm	注記 → 文字高さ JIS B0001の推奨値

☒ テンプレートを複数人で共有するときは、ドキュメントプロパティの設定値を社内標準として文書化しておく、新人でも同じ品質の図面が作れます。

☒ ② シートフォーマット (表題欄) の設定ポイント

右クリック → シートフォーマットを編集 で編集モードに入ります。誤って「シートを編集」を押さないよう注意。

項目	実務ポイント
外枠 (輪郭線)	用紙端から各10mm・線幅0.7mm (太線)。JIS B0001の規定値
内枠 (図枠)	外枠から5mm内側・線幅0.35mm。綴じしろは左辺25mmにする場合あり
表題欄の位置	図枠の右下角。幅180mm×高さ55mm前後が一般的
表題欄の区切り線	水平線3~4本・垂直線で列を区切る。全て細線 (0.35mm)
ラベル文字	「品名」「図番」など固定文字。文字高さ1.8~2.0mm (最小の読めるサイズ)
プロパティリンク文字	後述のリンク記述を使う。文字高さ3.0~4.0mm (値として目立たせる)
第三角法マーク	表題欄内に配置。SWの注記で「第三角法」または投影図記号を入れる

☒ 表題欄の線は必ずシートフォーマット編集モードで描くこと。シート編集モードで描くと、テンプレートに含まれず毎回消えます。

☒ ③ プロパティリンク (自動入力) の記述方法

表題欄の各欄にこの記述を入れると、ファイル → プロパティ (カスタム) に値を入力するだけで自動反映されます。

表題欄の欄	記述する文字列	補足
品名	\$PRPSHEET:"品名"	カスタムプロパティ「品名」にリンク
図番	\$PRPSHEET:"図番"	カスタムプロパティ「図番」にリンク
材質	\$PRPSHEET:"材質"	カスタムプロパティ「材質」にリンク
表面処理	\$PRPSHEET:"表面処理"	カスタムプロパティ「表面処理」にリンク
作成者	\$PRPSHEET:"作成者"	カスタムプロパティ「作成者」にリンク
照合者	\$PRPSHEET:"照合者"	カスタムプロパティ「照合者」にリンク
承認者	\$PRPSHEET:"承認者"	カスタムプロパティ「承認者」にリンク
縮尺	\$PRP:"SW-Scale2Decimal"	SWが自動計算（ビューの縮尺を参照）
シート番号	\$PRP:"SW-Sheet Number"	SWが自動入力
日付	\$PRP:"SW-Current Date:yyyy/mm/dd"	ファイルを開いた日付が自動入力
重量	\$PRP:"SW-Mass"	モデルの質量が自動入力（アセンブリ図で有効）

☒ 記述は半角で入力してください。日本語のプロパティ名（品名・図番など）はダブルクォーテーションで囲む必要があります。コピペ推奨。

☒ ④ 保存方法と読み込み設定

保存の種類	ファイルの種類	使い分け
シートフォーマット	.slddrt	表題欄・枠線のみ保存。別テンプレートに読み込み可能
図面テンプレート	.drwdot	ドキュメントプロパティも含めて保存。新規図面作成時に使う

操作	手順
シートフォーマット保存	ファイル → シートフォーマットを保存 → .slddrt で保存
図面テンプレート保存	ファイル → 名前を付けて保存 → ファイルの種類：図面テンプレート(*.drwdot)
テンプレートの登録	ツール → オプション → システムオプション → ファイルの場所 → ドキュメントテンプレート → フォルダを追加
チーム共有	テンプレートをサーバー共有フォルダに保存 → 全員のSWで同じフォルダパスを登録

☒ .drwdotと.slddrtは別物。テンプレートとして使うなら.drwdotを新規図面作成フォルダに置くのが基本です。

☒ ⑤ よくあるミスとチェックポイント

NG例	原因	対策
テンプレートを開いたら表題欄が消えた	シートフォーマット編集モードではなくシート編集モードで描いた	右クリック → シートフォーマットを編集から入り直して再描画
プロパティを入力したのに表題欄に反映されない	記述が全角になっている、またはシート(PRPSHEET)とファイル(PRP)を混同している	\$PRPSHEET:"品名"の記述をコピペして確認。全角スペース・カッコに注意
別PCで開いたら文字が崩れた	フォントが未インストール	MSゴシックなどWindowsに標準搭載のフォントを使う。PDFで配布する場合は埋め込みを確認

新規図面を作ったのにテンプレートが出てこない	テンプレートフォルダのパスが未登録	ツール → オプション → ファイルの場所 → ドキュメントテンプレート にフォルダを追加
縮尺欄が「--」になる	\$PRP:"SW-Scale2Decimal" の記述ミス、またはビューが未配置	図面ビューを少なくとも1つ配置すると正しく表示される

☒ ⑥ テンプレート完成チェックリスト

<input type="checkbox"/>	投影タイプが第三角法になっている（ドキュメントプロパティで確認）
<input type="checkbox"/>	単位系がMMGS（mm/g/s）になっている
<input type="checkbox"/>	外枠・内枠の線幅が正しい（太線0.5～0.7mm / 細線0.25～0.35mm）
<input type="checkbox"/>	表題欄の全欄にプロパティリンクが設定されている
<input type="checkbox"/>	ラベル文字（固定）とリンク文字（可変）のフォント・サイズが統一されている
<input type="checkbox"/>	新規図面で開いたときに表題欄が正しく表示される
<input type="checkbox"/>	ファイル → プロパティ で値を入力すると表題欄に反映される
<input type="checkbox"/>	.drwdot でテンプレートフォルダに保存されている
<input type="checkbox"/>	他のPCで開いても崩れない（フォント・パス確認）
<input type="checkbox"/>	チームメンバー全員のSWにテンプレートフォルダパスが登録されている